コウベ・ファッション・ソサエティ

K.F.S. NEWS 177

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通３－１－18
ツインズトアビル４Ｆ　月刊神戸っ子内
TEL. 078-331-2246

KFS20周年記念イベント開催！

小室豊允氏
＜姫路独協大学教授＞

武田則明氏
＜建築家＞

新谷琇紀氏
＜彫刻家＞

堀江珠喜氏
＜大阪府立大学教授＞

高野多美氏
＜コーディネーター＞

1994年９月16日(金)神戸凰月堂88に於いて、20周年記念イベントを開催することになりました。ＫＦＳ「神戸ファッションソサエティ」は、1974年７月に神戸ファッション市民大学の卒業生が中心となり結成されたグループです。業種の異なった方が20年間にわたり、神戸のファッション都市化を市民サイドから応援してまいりました。

神戸市もファッション都市に相応しく、ポートアイランドにはファッションタウン、そして六甲アイランドにはファッションアイランド、神戸駅前にはハーバーランド、北野町の環境整備等々・・・国際観光都市化が加速し、名実ともに変身していこうとしております。そんな中で私達も20周年を迎え、この期にもっと多くの人々にＫＦＳ設立の精神に賛同して頂くために、各界で活躍されている知識人・文化人の方々を招き、ファッションシンポジウム「ハート&ハート・神戸いま～みらい」を開催することになりました。

このシンポジウムを通じ、私達のＫＦＳがファッション都市神戸の発展に向け、一提言が出来れば幸いだと思っております。皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

ＫＦＳ　20周年記念イベント
実行委員長　村岡　圭

ＫＦＳ20周年記念
シンポジウム&ティーチイン

「ハート and アート
kOBE いま～みらい」

日　時　９月16日(金)　５時受付開場
５時半開演

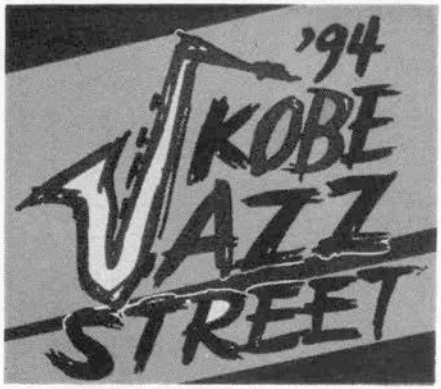
場　所　神戸凰月堂88　☎303-5555
ポートライナー中埠頭駅前

入場料　3000円（お弁当付き）

基調講演　小室豊允氏
＜姫路独協大学教授＞
「ファッション都市神戸の課題」

激論３時間

小室豊允氏をコーディネーターに建築家の武田則明氏、彫刻家の新谷琇紀氏、大阪府立大学教授の堀江珠喜氏、コーディネーターの高野多美氏が神戸のいま～みらいについて激論を闘わします。



'94 KOBE JAZZ STREET

□日時　10月9日(日)～10日（体育の日）
正午～午後5時

□会場　神戸外国倶楽部／NHK神戸放送局／新神戸オリエンタルホテル／レストラン・ソネノアルバトロス／サントノーレ／堂島ホテル・グルメプラザ／北野クラブ／神戸バプテスト教会など全14会場

□料金　1日券4,600円（前売り4,120円）
両日券8,500円（前売り7,400円）
※入場券替わりのワッペンで各演奏会場はフリーパス

□問い合わせ　神戸ジャズストリート実行委員会事務局
☎078—251—8461

神戸にジャズが誕生して、今年は71年目になる。

関東大震災で横浜港が使用不能となり、それまで横浜港を利用していたアメリカ航路の船が、神戸港に立ち寄るようになった。このとき、フィリピンのジャズピアニストのフランシスコ・キーコに代表されるジャズメンたちが、神戸に上陸、神戸とジャズとの関わりが始った。

こういう背景で生まれた「コウベ・ジャズ・ストリート」も、今では、すっかり神戸の秋のイベントとして定着。今年は、10月9日（日）と10日（体育の日）の連休に、北野界わいで開かれる。

出演者は別表の通りだが、この他にニューオリンズ・ラスカルズ、ディキシーランド・ハートウォーマーズなどアマチュアグループも多数参加、楽しいこと受け合いのジャズ・イベントとなる。

出演者

秋満義孝(P)、北村英治(Cla)、尾田悟(Ts)、
光井章夫(Tp)、原田靖(Tb)、清水万紀夫(All、Cla)、
沢田靖司(P)、花岡詠二(Cla)、田辺信男(Ts)、
細川綾子(Vo)、古閑みゆき(Vo)、キャンディ浅田(Vo)、
ドーリー・ベーカーVo)、辛島すみ子(Vo)、
古屋さと子(Vo)、宮野英子(Vo)、新井雅代(Vo)、
片岡学クインテット、大塚善章トリオ、
高橋俊男トリオ、北村吉彦トリオ、寺井豊トリオ、
太田純一郎カルテット

特別出演

スウェーディッシュ・ジャズ・キングス(スウェーデン)、
ダン・バレット、ビル・ベリー(アメリカ)、
トム・ベーカー、ジャネット・セイデル、
ディビッド・セイデル(オーストラリア)、
池宮正信(アメリカ10日のみ)

ALBATROSS
神戸アルバトロス
ジャズライブハウス
神戸市中央区中山手通1—22—10
ゾウビル2F
078（231）3300

ホテル グランドビスタ
神戸・北野
神戸市中央区加納町2—13—7
078（271）2111

料亭●ラウンジ
北野異人坂
神戸市中央区北野町2—9—22
078（222）2001

ミュージカル・ステージ
サント*ノーレ
神戸市中央区中山手通1—22—10
ゾウビル6F
078（221）3886

SPECIAL MESSAGE

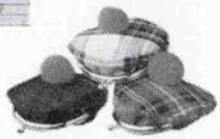
神戸百店会だより

FASHION

★'94秋のファミリアショー

神戸ファミリア元町本店では9月15日(木)から18日(日)にかけて、秋のお洋服新作発表会を開催。今回の新作は、古き良きものと新しいものとが混在するロンドンの街並をイメージし、メインの色は赤。いつの時代も皆に親しまれているタータンチェックの品物も数多く取り揃え、とにかくかわいい！小物は、プレゼントにも最適です。期間限定特別企画商品の方も、どうぞお見逃しなく！

パスケース



コインケース

トートバッグ

新柄テレフォンカード

BRIDAL

★ブライダルシーズンいよいよ到来！

結婚目前の人、結婚を夢見ている人、永遠のあこがれ—衣裳選びはどちらでないますか？

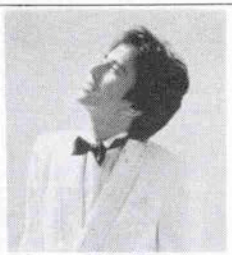
神戸市内の有名式場にはほとんど店舗を持つ、つるや衣裳店。その品数、種類の多さをご存じですか。なんと洋装は1000点以上。和装だって負けてない、800点以上。全ブランドが揃うと言っても、過言ではありません。

最近の流行というのは特になく、それぞれの花嫁がそれぞれの個性で、自分に合ったものを選ぶことが多いそうです。きれいな衣裳に身を包み、心身共にステキな花嫁になりたいですね。

DINNER SHOW

★'94ポートピアクリスマス

美川　憲一



布施　明

今から待ち遠しい！クリスマスディナーショー予約の季節がやって参りました。

今年、ポートピアホテルでは、その歌声に文句なく酔えそうな布施明（12月23日）と、昨年同様トークも楽しめる美川憲一（12月24日）を迎えてのディナーショー。どちらも、1部4時30分～、2部7時30分～。料金は、一人32,000円希望人数に合わせてテーブルをセットしてくれるそうです。（相席なし）

聖なる夜ぐらい、リッチに楽しもう！

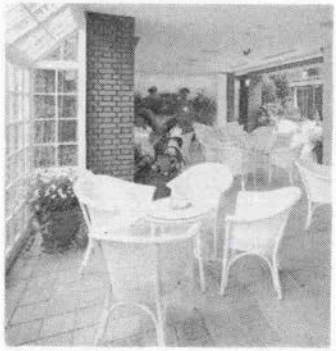
■予約・問い合わせ　クリスマス係
TEL(078)302—1111

PEOPLE <127>

●心くばりの達人

狭間　祥介さん<神戸北野ホテル　マネージャー>

宿泊部門一筋で、ホテルマン歴25年。「たくさんの人と出会えることが、何より楽しい。お客様の喜びは、自分の喜びです」。北野ホテルは、全部で30室。小規模なホテルならではの、ハイクオリティーなサービスを実行。「聞かれる前に聞く。常にお客様の身になって考えます」どんな小さな“気づき”も、大事に。狭間さんの人柄が、即ホテルの魅力となる。



▲思わず写真を撮りたくなる！ホテル外観。
◀年齢を問わず、おすすめのカフェテラス。

NEWS

★神戸北野ホテルのカフェテラスで、優雅なひとときを！

9月1日、神戸北野ホテル1F『アンテーノール』が、ホテル直営のカフェテラスとして、新たにオープンしました。

ホテルの前で、入ることをためらっていたあなた、この機会に扉を開けてみませんか。花と緑と太陽にあふれた、素敵なティータイムが楽しめること間違いなし。午前11時から午後6時まで営業年中無休。ただ今、貸し切りプランも検討中だそうです。パーティ、二次会などにも利用しよう！

●お問い合わせ　神戸北野ホテル　TEL078（271）3711

TOPICS

●ホテルゴーフルリッツより

お知らせ

第12回世紀末セミナー

〈漱石とある世紀末の小説〉

夏目漱石とイギリスの小説からの影響やそれがどのように漱石の創作活動と結びついて行くのか。ラファエル前派の画家とモデルの問題を漱石の『草枕』と照らし合わせてみる興味深いお話です。

日時／10月18日（火）
午後6時30分～8時
場所／ホテルゴーフルリッツ15Fアンダルシアの間
講師／松村昌家（甲南大学文学部教授）
参加費／2000円（コーヒーつき）

■お申し込みはお電話で　ホテルゴーフルリッツ　078－303－5555

●ゴーフルアルデア北野4階アート・ギャラリーよりお知らせ

★岡本　肇

〈風　曼陀羅〉展

アーティストとして幅広く活躍するかたわら、人間の根源を探るために十二頭の羊とともに旅をして「行動する禅」を実践したり、座禅や瞑想を行うなど独創的な活動を続けている岡本肇氏。今回は〈風〉をテーマに「書」でくり広げるユニークな世界です。五感をふるに活用し、その空間世界を思う存分楽しんで下さい。

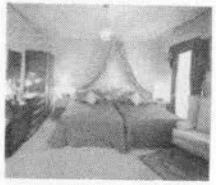
日時／9月14日（水）～25日（日）
午前10時～午後6時
（20日（火）は休館）

★ジャズの故郷　ニューオリンズ　ジャズ版画ポスター展

ニューオリンズジャズとマルディグラ（カーニバル）関係の版画とポスターを展示。

日時／10月1日（土）～10日（月）
午前10時～午後6時
（最終日午後4時まで）

■お問い合わせ　078－333－5555



●神戸北野ホテルより「ご宿泊特別優待券」をプレゼント

上欄でご紹介しました北野ホテルより、ご宿泊の室料30％割引の優待券（有効期限/1995年3月31日まで）を、なんと20組40名様にプレゼントします。あこがれのあの部屋でリッチに過ごせるチャンス！

PRESENT CORNER

♥応募方法●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区下山手通3丁目1－18ツインズトアビル4F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係までご応募下さい。9月末日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持って神戸っ子まで、プレゼントを受け取りにお越し下さい。

淀川長治 映画評論家

タランティーノの映画美術

「パルプ・フィクション」

ことし（一九九四）カンヌ映画祭グランプリ。「パルプ・フィクション」とはパルプすなわち読み捨て小説、言うならば電車の中で週刊誌の絵入りスリラー読み物をサッと読んで下車のとき車内のアミだなにほり投げて捨ててゆく、その種の〝読み切り〟〝読み捨て〟のよみもの。映写時間二時間三十五分。

かつて映画史上の名作「スカア・フェイス」あるいはおおげさにも呼ぶならカール・ドライエルそしてパブストのフィルムの匂いさえ嗅ぐ映画である。

×

プロローグはチンピラの若い男女の強盗カップルが喫茶店でコーヒーを呑みながらこの店を襲ってレジスターの金をまき上げようと相談。

『ビンセントとボスの妻』ギャングのボスが若い妻（ユマ・サーマン）をギャングの仲間のビンセント（ジョン・トラボルタ）に留守中まかしたところ酒に酔った彼女が麻薬を吸って死にかけてしまいビンセントはアドレナリンのこわい注射を彼女の胸に突き刺す。

『金時計』拳闘家ブッチ（ブルース・ウィリス）はボスから八百長試合をたのまれ金を受けとったのに相手を殺ろしてしまい、女のかくれ家にかくれたが自分のアパートに忘れた金時計を命がけで取りにゆく。これは、この映画の始まりにこの男がこの金時計の夢で震えあがって目をさますシーンがある。この時計は祖父から父に、そしてその父はハノイの捕虜収容所で死んだのだが戦友にこの小さな金時計を息子にと言いのこして死んだ。その時計は収容所ではシリの穴にかくしつづけて持っていたという時計。これを拳闘家が家にとりにかえる。もう死ぬかも。ボスの手がこの家にまわっている。ビンセントがすでにいた。これを巧みにのがれ時計を手に逃亡の車で走る前にボスが。拳闘家はこのボスを縊き殺ろそうとするが失敗し、不気味な質屋に入り込んだ。ところがそこの主人が拷問を楽しむ変質者。

『ビンセントとジュールス』黒人ジュールス（サミュエル・L・ジャクソン）はビンセントとはもともと二人組の仲間。二人は酒場で銃の手入れをしているとき思わずうしろの席の男のあごを暴発でぶち抜き苦しむその男を苦痛から助けるつもりで撃ち殺ろしたときその返り血で二人は血だらけとなり、友人のジミー（クエンティン・タランティーノ）の家に馳け込みボスに電話をかけボスの指示を待った。ジミーは妻が家にもどってくる前にこの二人の処理がかたづかないと妻にどう言っていいかとハラハラする。やがてボスがザ・ウルフ（ハーヴェイ・カイテル）という〝掃除屋〟を派遣した。この男はゆうゆうとタキシード姿でやって来たが、商売は死体処理業者、この男の世話で二人は助かり、ボスに手渡す金もあり、ひと息つくためコーヒー・ショップで朝めしをとった。そのときが、この店に強盗計画で客に化けてやってきたチンピラ二人組のギャング、これから強盗というやさきだった。

×

むかし「ブラッド・マネエ」というギャング映画があった。これをユナイト日本支社は「濡れた拳銃」と邦題をつけ、拳銃にコルトとルビをつけた。「パルプ・フィクション」はそれらのギャング映画を思わせ画面から〝映画〟の切れ味（きれあじ）を振りまいてゆく。

第一話はジョン・トラボルタ、第二話はブルース・ウイリス、第三話はハーヴェイ・カイテルとそうはっきりした区別は見せないが、まさに三人三主役のすばらしさを見せた。トラボルタはボスの彼女とクラブでなぐさみに踊るシーンを加え「サタディ・ナイトフィーバー」の足どり、そのステップを、こんどはエレガントに見せる。「ダイ・ハード」のブルース・ウィリスは坊主あたまの殺ろし屋型のボクサーを肉のかたまりの男臭さで見る者の目にしみこませてくる。「ピアノ、レッスン」のハーヴェイ・カイテルが、さて、どんじりにひかえましたるはアッシでござんす、そのようなムードでゆうゆう登場の、このシャープなアメリカ映画にどこか舞台の人気花形男役三競演のおもむきを見せた。

脚本・監督のクェンティン、タランティーノ（三十一才）はこれがなんと監督二作目。第一作が御存知「レザボア・ドッグス」（一九九二）。「恋に落ちたら」のユマ・サーマン。「ジュラシック・パーク」のサミュエル・L・ジャクソン、「コックと泥棒その妻と愛人」のティム・ロス、「ガープの世界」のアマンダ・プラマー、「デイア・ハンター」のクリストファー・ウォーケンと共演者の顔振れも手がたい連中を揃え、なにがグランプリかと馬鹿にするわけにはゆかぬ、血ぬられた映画の詩であった。

ジョン・トラボルタとユマ・サーマン

〝拳闘家〟ブルース・ウィリス

〝ザ・ウルフ〟ことハーヴェイ・カイテル

ポケット ジャーナル

★第二回「六甲アイランド WATER FRONT OPEN AIR PLAY」が開幕

昨年も大きな関心を集め話題となったこの野外展が場所も同じく、六甲アイランドマリンパークの南端遊歩道で、今年もまた開催される。

人工島と自然の海が接し合う遊歩道で〝従来の形式化された野外彫刻では対応できない、新しい街にふさわしいものを〟と神戸を中心とした近畿圏の現代美術の作家が腕を競う。

リゾートエリアと美術展という行楽と鑑賞のそれぞれの目的を持った人々が集い、交流を生むことが新しい試みとして根づきつつある今回は一層の充実が期待される。

初秋にふさわしいこの野外展、新たな感動を求めて出かけてみては。

第1回展覧会風景

◇会期・9月3日(土)～9月25日(日)
◇会場・六甲アイランドマリンパーク南端遊歩道 第2会場 AOIA
■問合せ・㈱シャーリーンオフィス内 ☎078－391－0771

★グループ不安透夢 多国籍劇団の「曽根崎心中」

在日外国人の日本語による演劇集団「グループ不安透夢」が三回目の本公演に近松作品を選び挑戦する。

グループ結成から4年、日本語の芝居を通して国際交流を図るユニークな劇団として注目を集めている。本公演は、フィリピン、インド、アメリカ、フランス、日本の精鋭達が、昨今聞かれなくなった大阪弁の特訓を受け〝天国に結ぶ恋、生と死と愛〟の世界に挑む。

◇日時・10月2日(日)3時・7時 10月3日(月)7時
◇会場・兵庫県民小劇場
◇料金・2500円
■問合せ(0798)74－6739

★田淵幸三 ピアノ・リサイタル

秋の夕べにショパンはいかが。ピアニストの田淵幸三がオールショパンプログラムのコンサートを行う。美しいメロディは、いつかどこかで耳にした事のある曲ばかり。普段ピアノに馴染みのない方にも、きっと楽しめるはず。

◇日時・10月8日(土)6時30分
◇会場・神戸文化中ホール
◇料金・3000円(自由席)
■問合せ・078－511－5223

★第12回ハンズ大賞 応募作品を12月まで募集中

株式会社東急ハンズでは「手で考えよう。手で見つけよう。手で創ろう。」をスローガンに今年もハンズ大賞を実施、8月より作品募集を始めている。昭和58

★誕生日ありがとう運動

私の出会った宝子たち(20)
―これ なあに？ Tちゃん―

この春、養護学校を卒業して入園してきたTちゃんは、花も恥じらう十八才。天真らんまんで、くったくがなく元気そのものです。何にでも興味を示し、彼女の口ぐせは、これ なあに？。次から次への質問攻めに、答えるほうも大変です。が、あきるのも早く、どんどん勝手に仕事を変えて、ひとりで段取りしてしまうので、ついてゆくのに困ることもあります。

仮死状態で産まれた彼女は、網膜はくりの手術をうけ、右目はほとんど見えませんが、彼女のお母さんは、なるべくひとりで何でも出きるようにと、「手を出さず、口は出すよ」と、彼女を見守りながら育てられたので、洋服の着替え、食事など、身の回りのことはほとんどできます。

靴だけは何回はき直しても左右反対で、それが不思議でなりません。人一倍汗っかきのTちゃんは、今年の暑さに、朝から玉のような汗をかきながらも、これ なあに？ これ なあに？と、動き回って、元気いっぱいです。(N)

誕生日ありがとう運動本部
〒651 神戸市中央区御幸通 八―一一六 神戸国際会館一階郵便局の隣
TEL・FAX ○七八―二二一―二一一四

年より始まったこのコンテストは、作品のジャンルや応募資格に制限を設けておらず、毎回子供から大人までオリジナリティに富んだユニークな作品が寄せられている。応募作品は一次・二次審査を経た後、グランプリ以下全11賞30点が決定する。選ばれた力作は来年の作品展（東京・大阪・広島）で披露される。作品の応募受付は12月12日まで。

第11回ハンズ大賞作品展

まずはハガキか電話で左記事務局まで問合せを。必要資料が手に入る。

■問合せ・応募先「ハンズ大賞事務局（HANDS DESK）」
〒150 東京都渋谷区桜丘町9－18 桜丘マンション103号
☎03（3496）5281
月～金10～18時

★有馬グランドホテルにてミニ懐石と講演を楽しむ

女性を対象とした第一回「サンケイハートサロン」が、来年歌手生活50周年を迎えるシャンソン歌手、石井好子さんを講師に招いて10月に開催される。料理長自慢のミニ懐石料理を楽しんだ後は、エッセイストとしても知られる石井さんの豊かな人生談議に耳を傾け快い感動のひとときを。

石井好子さん

◇日時・10月11日（火）
受付12時／食事12時30分
講演2時
◇会場・有馬グランドホテル
山楽の間
◇料金・一名8000円
（女性のみ）

■問合せ／予約
☎078－904－0181

♥神戸っ子より二名様にチケットをプレゼント。葉書に住所、氏名、年齢、職業、電話番号、プレゼント名を明記の上、月刊神戸っ子「ポケットジャーナル係」迄。10／4必着。

★神戸ハーバーランドニューオータニの特別宿泊企画をプレゼント！

開業2周年を迎えた神戸ハーバーランドニューオータニがユニークな宿泊プランを打ち出した。今、何かと話題のオリックス・ブルーウェーブ、イチロー選手の宿泊日前日迄の打率分を正規室料より割引きするという、その名も「イチロープラン」！

イチロー選手

彼の打率は4割近く、これだけ割引きがあるのなら大変お得。イチローを応援して、快適なホテルライフを楽しみたい。

土曜日を除く、10月31日まで有効の「イチロープラン・チケット」を読者の皆様にプレゼント致します。

♥応募方法・葉書に住所・氏名・年齢・職業・電話番号、プレゼント名を明記の上、月刊神戸っ子「ポケットジャーナル係」迄。10／4必着。

■「イチロープラン」についてのお問い合せは、神戸ハーバーランドニューオータニ・宿泊予約直通電話078－360－7777まで。

★「六甲荘」で二万組目のカップルが誕生

北野にある「六甲荘」は昭和46年8月のオープン以来、総合結婚式場として親しまれてきた。これまでに幾多のカップルが誕生したが、9月4日で挙式二万組を達成した。これは、年間870組を23年間継続したことを記念したもの。

■神戸の本棚

★「竹内浩三をめぐる旅」
アア
戦死ヤアハレ
兵隊ノ死ヌルヤアハレ
コラヘキレナイ
サビシサヤ
……と続く「戦死ヤアワレ」の詩人、竹内浩三に強い関心を持つ筆者は、戦争で肉親を失うという彼と同じ心の痛みを共有している。それ故、強い想いを込めて彼の軌跡を追うのであろう。本作品は、かつて文芸誌「遅刻」に連載されたものに加筆訂正し新たに出版された。厳しい時代に生まれながら純心で、真実をみつめる眼を持ち続けた彼の生きざまに感銘を受ける作品である。
たかとう 匡子・著
編集工房ノア・定価1880円

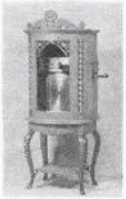
★「老後は二度ない」
（悔いなきために）
ロングセラー「老後のわかれ道」の著者の待望の第2弾。急速な勢いで高齢化社会が進みつつある我がニッポン。老いは誰もがいつかは通る道。人生で老後が最高だと言える時代を迎える為には一人一人が老後について、真剣に考える事が大切だと、本作を読むと深く実感する。
著者は〝老いて自立友の会〟の代表をつとめている。
中島 れい・著
栄光出版社・定価1000円

★「神戸」
旧居留地、南京町、ジャズ・ストリート…本書の目次の見出しに並ぶ神戸の街々。神戸に生まれ、育った著者が街と人と歴史風景を生き生きと読み手に伝えている。
東 秀三・著
編集工房ノア・定価1880円

になる。「異人館の一角に位置し、都会では数少い庭のある緑豊かな施設が好まれたのでしょう」と宴会担当者は語る。三万組目はいつになるかが次の話題だ。

★「ホール・オブ・ホールズ六甲」でオルゴールを！

去る7月、六甲山に西日本最大のオルゴールミュージアムがオープンした。ドイツ風建物の外観が六甲の自然に見事にマッチして素敵な雰囲気。中には約50台のアンティークオルゴールが展示されている。単なる展示館とは違い、オルゴールの演奏に解説員の説明を加え、百年前の音をそのまま再現して聴く事ができる。毎週土曜の夜には19時から約2時間のオルゴールコンサートも行われている。（予約制）様々なイベントや館内にある、ミュージアムショップのオリジナルオルゴールも楽しめそう。この「ホール・オブ・ホールズ六甲」への入館チケットを5組10名様にプレゼント。豊かな自然の中で美しい音色に耳を澄け、やすらぎの一時をどうぞ。

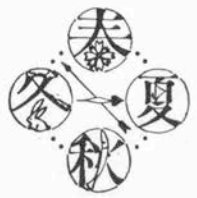


レジーナ・コロナ35型

建物外観図

◇開館時間・9：30～17：00
◇休館日・木曜（祝日除）12／31・1／1
◇場所／問合せ・神戸市灘区六甲町北六甲4512―145 ☎078―891―1284
◇入館料／大人800円・小人400円
♥入館チケットプレゼントは葉書にて（プレゼント名記入）月刊神戸っ子「ポケットジャーナル係」迄。10／10必着。

花時計



24時間体制で関空発進

大阪湾の泉南沖に「関西国際空港」が開港した。九月四日（日）まず、午前六時過ぎ、グアムからの臨時便が到着したのを皮切りに、この日で、国際線、国内線の両線で一日計二百二十二便が離発着した。中でも国際線の第一便はいづれも人気が高く、ほとんどが満席であったという。ジャカルタ経由バリ島行きの便や米国行きの各便は「お盆並みの込み具合」となったと嬉れしい悲鳴。何しろ四日当日空港を訪れたのは、空港関係者が約3万人、一般乗客は5万人以上。送迎客や見学客が入場制限されたため、目立った混乱はなかった。

しかし、現代技術の粋を集めたこの大空港、夜になると、さながら不夜城のように明るく浮かび上がり、次々に離陸する航空機の軌跡が夜空を放射線で染め上がらせ、夜空に航跡を引き世界に向かって飛び立つ有様は、さながら、関西の新時代を象徴する豪華な絵模様を見るようである。

流石に関空開港前後はテレビ、ラジオ番組も、〝関空、関空〟と大賑わいを見せた。空港関係者も、これほど地域の市民各層の歓迎ムードの中で開港できて一息。〈Y・Y〉

●KOBE POST

★美術評論家の**赤根和生**さんのご住所が変りました。〒665宝塚市亀井町10―63―131 ☎0797(77)4130
★第18回井植文化賞表彰式が、9月10日（土）午後10時30分より、井植記念会（理事長・井植真雄）で催されます。文化芸術部門（**鈴木漠**）科学技術（**天津睦郎**）社会福祉（**楢崎茂登子**）地域活動（代表**松浦寛**）報道出版（**小椋雅章**）国際交流（**桑原泰業**）の各氏。
★神戸新聞総合折込の代表取締役社長に、**田中忠雄**氏が就任（7／1）〒650中央区元町高架通3番263号 ☎078(361)0901
★有限会社JNプランニング（**森原順子**／**竹中紀子**）が、神戸市とジャパン・マーケットセンターが支援する「神戸ファッション産業インキュベーション制度」の対象となり六甲Iの神戸ファッションマートに入居（9／1より）〒658東灘区向洋町中6丁目9番地神戸ファッションマート5W―04俯JNプランニング ☎078(857)8221 FAX(857)8221
★株式会社春島組（**春名徹**代表取締役）が、8／62よりINAXのLIFAネットワークに加わり「ライファ神戸東山」を第一次特約店となり、リフォームプロフェショナルとして専念されます。〒652神戸市兵庫区東山町1の11の2 ☎078(574)2222 FAX078(574)2200春島組 ☎(511)6987
★株式会社アトリエフルタ建築研究所（**古田義弘**）が移転。〒659芦屋市打出小槌町6番9号COREビル打出小槌504号 ☎0797(31)6550 FAX0797(31)5955
★音楽・企画・プロデュース「展覧会の絵」の住所が変りました。〒661尼崎市東園田町2丁目82―2音楽・企画・プロデュース「展覧会の絵」**矢尾田豊子** ☎06(497)2330神戸及び夜間連絡所〒650神戸市中央区山本通2―7岩井ビル1F「展覧会の絵」☎078(222)5782

★旬の素材を生かした四季の味が楽しい〝大和〟

日本情緒漂よう〝大和〟ののれんをくぐり店内に入ると、白木のカウンターに向って板前の野々上民和さんの包丁さばきが眼に入る。

女主人の佐竹弘子さんの暖かく、にこやかな顔にほっとする。

旬の素材を生した、おさしみや、にぎりを楽しみながら、越の寒梅や、長野の大雪渓の吟醸、また灘の白鶴や剣菱を飲むと〝これぞ日本の味〟。

小座敷も別にあって、ミニ会席（¥5、000）から、予算に応じて（予約制）会席が用意される。板さんの腕前をカウンターで楽しむもよし、小部屋でゆっくり楽しむのも又格別。

■寿司・割烹　大和
神戸市中区北長狭通2—11—5
グランドコーストビル1F
☎078—321—3868　定休日日曜
営業時間　17：00～23：00

大和の店内。イキのいいネタがずらり。

★仲間とのおしゃべりで一日の疲れを一掃!!

「今の私があるのは周りの人々のおかげです」とやすらぎ処連のママ、厚地千恵子さん。一人一人との出会いを大切に温めてきた連の店内は美しい陶器や花で一杯。見ているだけで幸せな気分にさせてくれる。

5年前、経験なしでゼロからのスタートを決心。

「お客様にひとつづつ教えて頂いたんです。ボトルの持ち方からサンドウイッチのハムの量まで(笑)。」

おすすめは〝自家製赤じそジュース〟。食欲が出て元気になると大好評。お見舞にも大変喜ばれている。きれいな赤色のこのジュースはお酒の飲めない女性にもカクテル感覚で大人気。

知らない者同士がいつのまにか親しい友達になってしまう—そんな素適なお店連でほっとくつろげるひとときを!。

■やすらぎ処　連
神戸市灘区森後町2—21—9号
☎078—843—0357　定休日日曜
コーヒータイム　10：00～18：00
ほろ酔いタイム　18：30～0：00

〝連〟はいつも仲間で一杯。

★おふくろの味を鯉川筋の「佐和」で!

「断然多いのが単身赴任の男性たちなんです。三宮駅からこの生田新道を通って鯉川筋角の〝佐和〟まで、おみそ汁と白いごはんを食べさせてくれる店がないからといって、転勤されると又、新任の方がいらっしゃるんですよ」とママの今永鈴子さん。

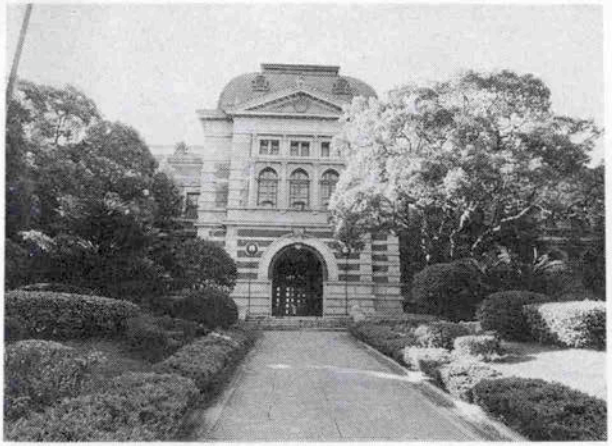
カウンターで腰掛けて食べる家庭料理を初めて16年15～16種類のおかずが並ぶカウンターは17人が座れる。田中徳喜さんのコラージュや、山本敏雄さんの鈴蘭の絵が掛り、やさしい雰囲気に、きっと家で食事をしている気分になるからだろう。昼のランチも700円で7種類の細やかなおふくろの味。

おいしそうなおふくろの味が並ぶカウンター

■佐和
神戸市中央区下山手通4—10—1
☎078—331—3502
昼　11：30～13：30
夜　17：00～21：30

ハーンの神戸時代を訪ねて

河内　厚郎〈文芸・演劇評論家〉　写真／米田　英男



ラフカディオ・ハーン（写真右）が、日本への帰化申請のため足繁く通ったという旧兵庫県庁（現・兵庫県公館）。

ラフカディオ・ハーンが神戸で過ごした二年間は、松江で暮らした期間より長いにもかかわらず、神戸時代についてはこれまで一般に知られなかった。神戸市史でもあまり語られていない。八月二十六日、二十七日に来神百周年を記念して、八雲会（本部・松江）と、地元の松蔭女子学院大学が「ラフカディオ・ハーン in カンサイ」を催し、私もその一部に参加することができた。

二十六日、松蔭女子学院大学講義室における開会式では、駐日アイルランド大使のジェームズ・A・シャーマキー氏、駐日ギリシャ名誉総領事のイシドロス・G・マルタキス氏、小泉家の小泉時氏らが来賓祝辞をおこなった。記念講演「『バレット文庫』と神戸とハーン」では、松蔭女子学院大学教授の真貝義五郎氏が、同大学の入手した『バレット文庫』版に収録されている『神戸クロニクル』論説（未刊行）の、真偽の考証作業の経過と、神戸へ移住するまでのハーンを取り巻く人間模様について語った。

日本人以上に日本を愛したといわれる、小泉八雲ことラフカディオ・ハーンは、明治二十七年十月、神戸の居留地で暮らす外国人向けの英字新聞コウベ・クロニクル紙の記者として来神した。居留地の北限、日本人と欧米人の雑居地区で暮らしていたが、欧米人のデリカシーを欠く態度には嫌気がさしていたようである。

「……音をたてないで歩き、やわらかい声で話をする

神戸時代のハーンの第三住居跡を示す碑が立つ兵庫県中央労働センター正面玄関にて。

日本婦人の間で暮らしたあとで、外国婦人を見たり、声を聞いたりすることは神経にさわる。その上、ここでは外国婦人は、ほとんどみなひどい商人風で、きどった英米服が流行している。敷物、汚れた靴、つまらない流行、ひどく高価な生活、きどり、声、むだ話。それよりは、やわらかい畳の上の、いつもやさしい、礼儀正しい、うるわしい、清い、質朴な日本生活のほうがどんなにか住みよいでしょう」と、東京にいる言語学者のチェンバレンに手紙で書き送っている。

自分の中に、日本人の感性が根づいていると感じていたハーンは、明治二十九年一月、中山手の県庁へ通いつめて、とうとう日本国籍を取得するのである。〝小泉〟は妻セツの姓、〝八雲〟は『古事記』にある「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣つくるその八重垣を」という歌からとった。

アイルランドとギリシャの血をひくハーンは、いわば欧州の辺境から出てきた人である。ギリシャはむかし多神教の文化が栄えた国だった。長年イギリスの圧政に苦しめられてきたアイルランドは、ケルト文化というキリスト教以前のアニミズム（精霊信仰）を今もひきずっている。そうした出自が、威圧的な一神教や、列強の植民地主義に対する反感となって表れたのかもしれない。

デラウエアー大学教授のカール・ドーソン氏の講演では、日本文化研究家であり天文学者でもあったパーシヴァル・ローエルの『極東の魂』が、ハーンを日本への憧れに誘ったことが紹介され、新旧の日本が微妙に交錯する明治中期を、ローエルとハーンはどのように感じたのかを語り、また二人の日本観にはそれぞれのアメリカにおける境遇が色濃く反映していると解説した。

午後のシンポジウム「関西における小泉八雲―神戸を中心に―」では、東灘在住の童話作家の藤森綉枝氏が、妻セツの語った話がハーンの日本理解の第一歩であり、目を患ったり帰化に悩むハーンのそばで、セツ自身も成長したことなど人間的側面を説明した。ハーンのひ孫にあたる小泉凡（小泉八雲記念館学芸員）氏は、ハーンの神戸時代は唯一教師生活を離れてジャーナリストに戻った時代であり、ここで著された『心』の主要作品は、日本人の精神生活をえぐり出した短篇で、ルポルタージュ紀行とも再話文学とも異質であると語った。

夕刻、会場を同大学チャペルホールに移して、ジャズと講演の夕べ「小泉八雲が聴いたニューオリンズの音楽」がひらかれた。巾園岩男（建設コンサルタント）氏によると、ハーンがニューオリンズに来た一八七七年当時まだジャズという言葉はなく、ハーンは「アフリカの

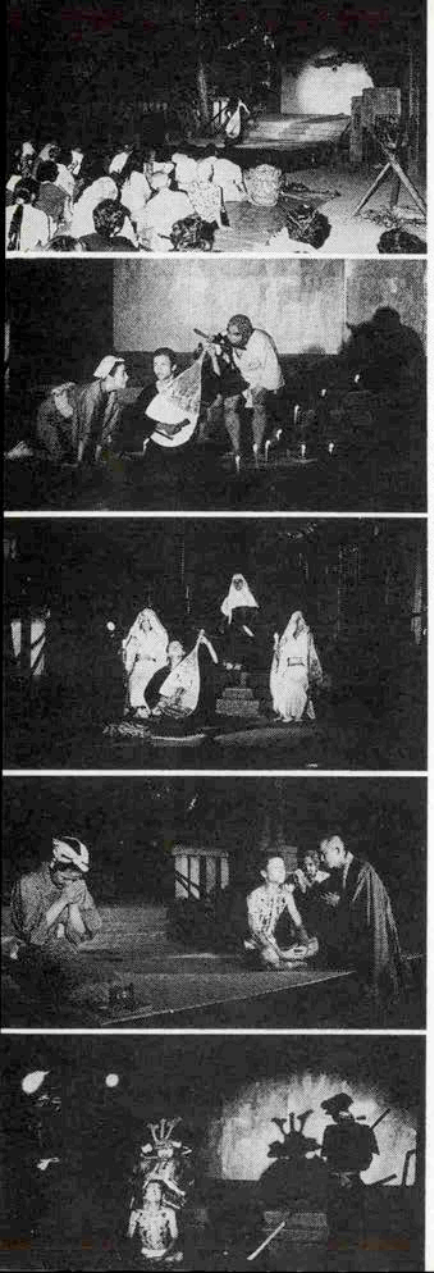
写真左上より、関帝廟／和田岬砲台／能福寺の兵庫大仏／湊川神社と筆者。

リズムにフランスとスペインのメロディをかぶせた」音楽だと表現している。また、シンシナティー時代の記者仲間で音楽評論家のH・E・クレイビールあてに、歌詞の写し、黒人歌手のリズム、バンジョーやピアノの不思議な演奏法などの研究結果を書き送ったりしたとのことである。そして、末廣光夫氏の構成演出で、など今世紀初頭のニューオリンズジャズが、木村陽一とニューオリンズ・オーケストラにより演奏された。

二十七日は、ハーン旧居跡の兵庫県中央労働センターに会場を移した。中田賢次（茨城高等専門学校教授）氏が、ハーンはセツから伝え聞いた日本の原話を再話して「怪談」をつくったと考えられてきたが、本当は、自己の中心に渦巻くGhostlyなものに形を与えるべく積極的に原話を模索しながら改作したと説いた。横山純子（八雲会理事）氏は、ハーンの作品中の女性像が印象的に描かれている部分を取りあげ、言語分析の手法でハーンの女性観をたどりながら、どのような特徴的な表現があるかを考察した。

シンポジウム「小泉八雲と世界の中の日本」では、銭本健二（島根大学教授）氏が、ハーンの「日本―解釈の試み」の意味、西成彦（熊本大学助教授）氏が世界文化とクレオール性について語り、つづいてジョージ・E・ゴマロフスキー（駐大阪ロシア総領事・日本文化研究家）氏とマイヤ・ゲラシモア（国際日本文化研究センター特別研究員）氏がハーンの日本理解について語った。最後に富井俊郎（島根女子短期大学助教授）氏が、ハーンが来日して見た「白く漂うもの」とカリブ海で見た「青金石の海」が象徴するものについて比較考察した。

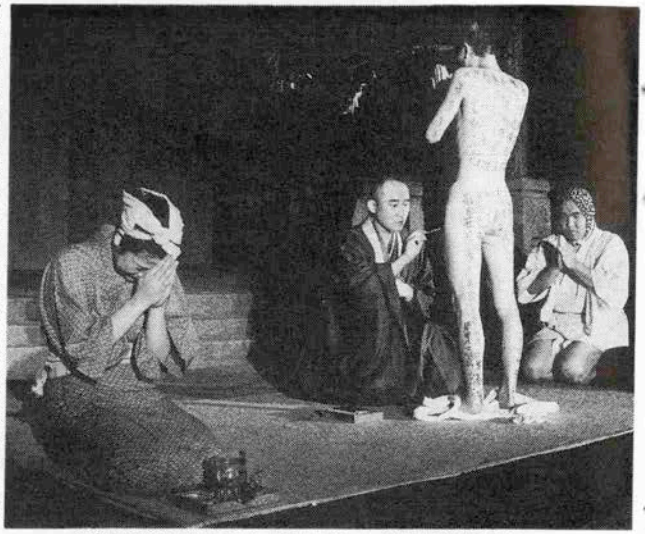
ところで、神戸に在住した頃、ハーンは精力的に関西各地をまわっているが、大阪について手放しの絶賛に近いのは注目に値する。「日本の大都市で大阪ほど洋服姿の少ない都市はまれだし、大阪ほど人々の着物が魅力的で町並みの美しいところはない」「建築の面でも、大阪はそれ以上望めないほど日本的な姿をとどめている。運



闇夜の中、幻想的に繰り広げられた「耳なし芳一」。

河があり、橋も多いので、町全体の景観も東京より趣がある。日本のベニスとよばれるのにふさわしい」そして、古い日本が迅速に消えつつあるというのは真実でなく、少なくとも大阪では百年間は完全に消えることはあるまいと、言葉をきわめて都市美をほめているのだ。当時の大阪には「古都」の趣があったらしい。

しかし時代の嵐は、当時の日本を激しく変えつつあった。明治二十七年十月、ハーンは家族と共に熊本から神戸に移ってくる途中、博多や下関の港で、大陸へ出征するおびただしい兵士の群れと出会っている。日清戦争の開戦間もないころで、「まだ幼な顔でいかにも無邪気で、快活で、人生の大きな悲哀など全く知らない」とその印象を書き残した（『心』「戦後」）。つまり、ハーンの神戸生活は日清戦争と共に始まり、その戦後処理をめぐる緊張した国際関係を反映するものであった。西洋の圧力でこじあけられ、徐々に変化していく日本人の心性を、ハーンは複雑な思いで観察している。



須磨寺の境内で演じられた「耳なし芳一」（劇団「幻影舞台」）。

二十七日のバスツアーでは、ハーンの旧居跡（現・神戸海洋気象台や下山手通り）をたどり、新聞の父ジョセフ・ヒコの碑や、在神華僑の寺である関帝廟を訪れた。旧居留地・大丸前から神戸クロニクル社跡、さらには平清盛の眠る能福寺や和田岬をたずね、湊川神社前では、ハーンがここで帰還兵士のパレードを見聞した時のエピソードが藤森氏から紹介された。凱旋する部隊はもはやただの若者ではなく「人を厳粛にする光景をあまりにしばしば見すぎた」者たちであったとつづられている。

バスツアーの終点は、須磨寺。境内の特設舞台では、『平家抄』より「福原落ち」から「壇ノ浦」までが一絃琴で演奏され、また劇団「幻影舞台」が平家ゆかりの『耳なし芳一』を演じた。神戸は歴史的素材に恵まれた街であり、比較文化を学ぶに適した地であることを、あらためて認識させられた。